

耐性菌のお話～MRSA～

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。お正月ゆっくり過ごせましたか？お仕事だった方、お疲れ様です。新しい年も感染にかかわるタイムリーな話題を皆様にお届けできればと思っています。さて、今回は耐性菌の代表格「MRSA」について取り上げます。

MRSAってどんな細菌？

MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）とは、多くの抗生物質が効かない「耐性」を持った「黄色ブドウ球菌」という細菌のことで、感染すると肺炎や皮膚の化膿などを引き起こし、特に免疫力が低下した人（高齢者など）では重症化しやすく、治療が困難になるため注意が必要な「医療関連感染」の主な原因菌。多くの抗菌薬に対しても効きにくい細菌である。

感染経路は**接触感染**で手指を介して広がる。イラストのようにブドウの房のように見えます。



直近1/5～11のインフルエンザ発生数

全国：未発表
北海道：725人



札幌223人

中標津8人

根室5人

帯広20人

釧路30人

インフルエンザはかなり減少していました。しかし、B型が出てきているようですので注意必要ですね。

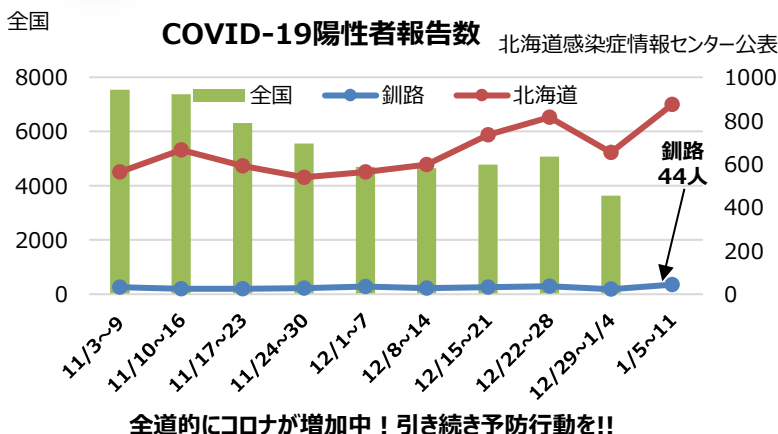
普通のブドウ球菌とMRSAは何が違うの？

ブドウ球菌はヒトの皮膚や鼻の中に存在する常在菌。MRSAはこのブドウ球菌が薬剤耐性となったもの。多くの抗菌薬が効かないため、治療に難渋します。感染すると重症化しやすくなる可能性があります。

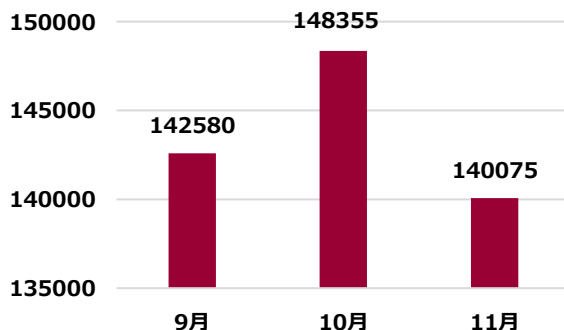
しかし、同じブドウ球菌です。耐性菌は細菌が持つ感染力が強いということではなく、抗菌薬に耐性を持つため抗菌薬が限定されるので注意が必要となります。

感染対策＝接触感染対策

MRSAが検出している患者は病院だけではなく施設入所者にもいると思います。まずは、標準予防策の徹底、さらに接触感染対策を追加します。例えば、患者ケアの前後での手指衛生（手洗いや手指消毒）の徹底。体液等に接触する危険がある時には防護具の着用が必要になります。MRSAは環境下でも90日程度生存すると言われているため、多くの人が良く触れる場所は消毒が必要です。接触感染はヒトの手を介して感染が広がる危険があるので、ケアをする医療従事者は普段から手をきれいにすることを習慣化しましょう。手をきれいにすることは人のためだけでなく、自分を守ることにもつながります。



2025年度 手指消毒薬使用量



感染症対策のお願い

発熱などの有症状時は直接受診することは控え、病院へ連絡してから来院して下さい。当院への受診の際は必ず、マスク着用をお願いします。また、受診時の付き添いの方は1名までとさせていただきます。面会是个々の患者さんの状態に応じて対応しています。陽性の方は症状悪化した場合等は診断を受けた医療機関へご相談下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

